

「第3号ふ頭を核とした魅力づくり連絡会議」について

(1) 会議設置の趣旨

第3号ふ頭及び周辺区域については、今後のクルーズ振興やみなと観光としての賑わい創出を図ることを目的に再開発を進めることとし、既に平成26年度から直轄事業による大型客船対応岸壁の整備に着手しており、今後、ふ頭内における旅客船ターミナルや大型バス駐車場の整備、また、基部における緑地や小型船だまりの整備を進める計画であります。当該区域の整備では、民間投資の導入も大きな課題であることから、区域全体の整備コンセプトや民間投資導入促進に関して官民で検討することが必要不可欠であります。

また、当該区域は、将来的に「みなとオアシス」の認定を受けることを想定しており、この運営主体や事業活動内容についても官民で検討する必要があります。

このため、小樽市や経済、観光団体との意見交換の場として「第3号ふ頭を核とした魅力づくり連絡会議」を設置したものです。

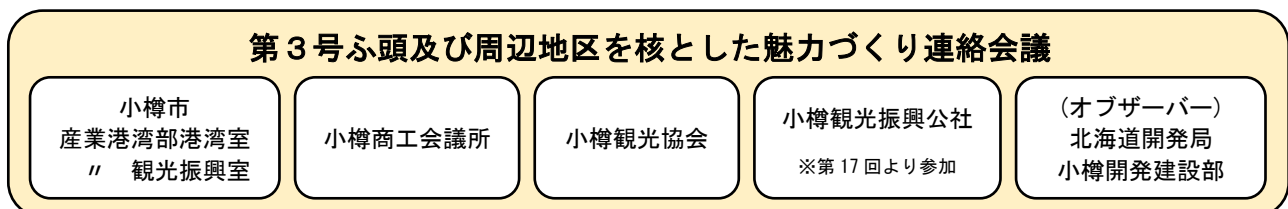
(2) 具体的な検討内容

連絡会議で意見交換を行うテーマは以下の5項目としています。

- ・ 第3号ふ頭及び周辺再開発事業における、旅客船ターミナル（既存上屋を改造）、観光船乗り場、親水緑地等の整備コンセプトの整理
- ・ 当該区域で想定されるイベントの整理
- ・ 当該区域とマリーナエリア、北運河エリア、小樽駅との連携の在り方
- ・ 民間投資導入促進に向けた施策
- ・ みなとオアシスの運営主体

(3) 会議の構成機関

会議の構成機関は、設置目的に照らし、行政機関と市内経済団体、観光団体で構成することとし、また、基盤整備やみなとオアシスの認定に関するアドバイスを受けながら進める必要性もあることから、北海道開発局のオブザーバー参加をもらい、以下の構成で進めることとしています。



(4) 意見交換の対象範囲

第3号ふ頭及び周辺区域については平成26年度に「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」を策定しており、将来的な構想として図-1のとおり取りまとめたが、全体構想の実現には、既存物流全ての移転や多額の事業費をようすることから、段階的に進めることとしており、本意見交換では、当面の整備目標である図-2に示す範囲を対象としています。

図 -1 第3号ふ頭及び周辺再開発計画施設配置計画図

(平成26年度に策定した「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」での将来構想)

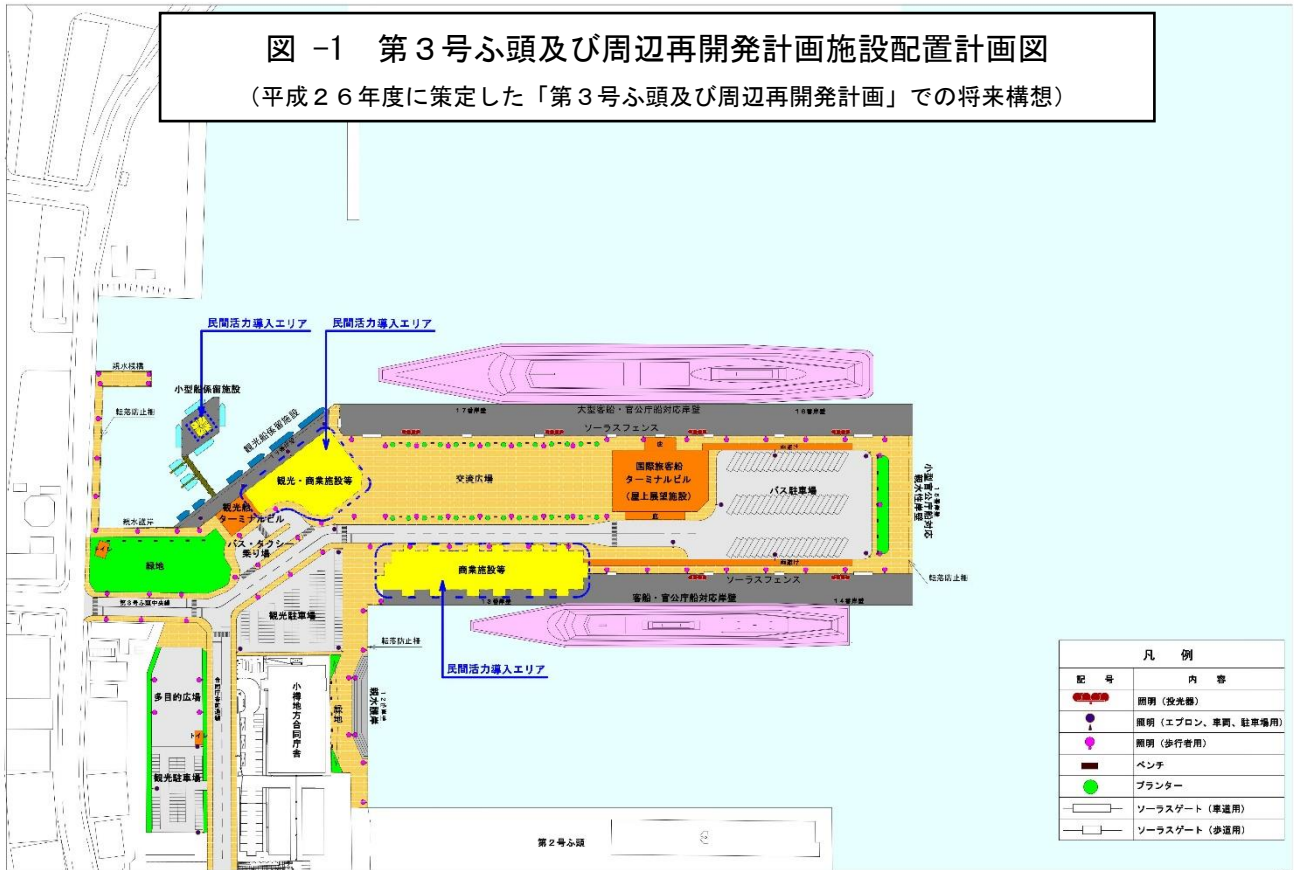


図 -2 当該連絡会議で意見交換の対象とする区域

本連絡会議の検討対象範囲

